

ナショナルバイオリソースプロジェクト実験動物メダカ
平成 16 年度 第 2 回研究運営委員会議事録

日時：平成17年1月31日(火)13時～17時

場所：名古屋大学生物機能開発利用研究センター セミナー室

出席者：長濱嘉孝(議長)、石川裕二、工藤 明、近藤寿人、酒泉 満、柴田直樹、武田洋幸、堀 寛、三谷啓
志、山崎由紀子、若松佑子

オブザーバー：丸山耕一、尾田正二、

事務局：橋本寿史

欠席者：井口泰泉、岡本 仁

開会挨拶

若松佑子

本日の議事について

長濱嘉孝

議事に先立ち、前回の議事録が承認された。議事内容の確認と議論の仕方を確認した。

議事

1. 文部科学省ヒアリングへの準備と検討

ヒアリング開催についての文部科学省からの連絡と経緯について若松委員から説明があり、以下の検討を行った。

1) サブ機関の削減について

サブ機関の削減について検討し、平成 17 年度は東京大学大学院理学研究科、東京大学大学院新領域創成科学研究科、および信州大学理学部の3機関を削減することとした。平成 18 年度におけるサブ機関の削減については、平成 17 年度の研究運営委員会で引き続き議論することで合意した。

2) ナショナルセンター構想について

次期 NBRP メダカにおいて、ナショナルセンターが実現されるべく、当研究運営委員会を中心に、メダカコミュニティからの意見を取り入れて、今後、構想を具体化していくことで合意した。

また、野生集団、近交系・汎用系統、突然変異体・ゲノムというメダカリソースの3つの要素をそれぞれ尊重しつつ、ナショナルセンターの実現を目指すことで概ね合意した。

2. その他

1) ZFIN レポート

山崎由紀子

メダカ突然変異体のデータベースの ZFIN との連携について、ZFIN の視察報告を含めて、説明があった。

2) メダカブック

橋本寿史

メダカブックの編集方針について説明があった。